

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		平成25年度 第1回 川西市社会教育委員の会	
事 務 局 (担 当 課)		教育振興部 社会教育室 (内線 3421)	
開 催 日 時		平成25年4月24日(水)10時00分～12時00分	
開 催 場 所		市庁舎 202会議室	
出 席 者	委 員	生田議長、安藤副議長、末澤委員、岡田委員、廣末委員、米田委員、真鍋委員、仲委員 計 8名	
	そ の 他		
	事 務 局	牛尾教育長、泉教育振興部長、森下総務調整室長、 上中学校教育室長、柳川社会教育室長、岸本中央図書館長、 仲岡中央公民館長、中定生涯学習センター所長、中塚こども家庭部長、山元こども家庭室長、井上社会教育室副主幹、西垣(囑託職員) 計12名	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数 0名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		1. 開会 2. 教育長あいさつ 3. 委嘱状の交付 4. 報告事項 (1)平成25年度阪神北地区社会教育委員協議会第1回理事会の会議報告 (2)各協議会等の会議報告について (3)平成25年度川西の教育及び教育委員会重点施策について (4)平成25年度公民館講座案内(前期)について (5)平成25年度こども家庭部の主要事業について 5. 議題 (1)各協議会等役員の選出について (2)平成25年度年間研究テーマの設定について (3)会議開催等の日程等について 6. その他	
会議結果		別紙のとおり	

審 議 経 過

NO.1

議長	平成25年度第1回川西市社会教育委員の会を開会する。
教育長	教育長挨拶 新委員(仲委員)への委嘱状交付 社会教育委員の自己紹介 教育委員会及びこども家庭部職員の紹介
議長	前回、議事録の承認について (承認)
議長	4の報告事項の(1)(2)について (1)平成25年度阪神北地区社会教育委員協議会第1回理事会について 平成25年4月23日(火)午後2時~ 伊丹市庁舎南館 大研修室 議長より報告 (2)各協議会等の会議報告について ・青少年センター運営委員会について 平成25年3月21日(木) F委員より報告
議長	報告事項(3)から(5)について事務局から説明を。質問等につきましては、すべての説明終了後、一括でお受けする。 (3)「平成25年度川西の教育及び教育委員会重点施策について」 教育振興部長より説明 (4)「平成25年度公民館講座案内(前期)について」 中央公民館長より説明 (5)「平成25年度こども家庭部の主要事業について」 こども家庭部長より説明
議長	事務局からの報告事項について、質問はありませんか。
A委員	昨年度、一番気になったのは学校でのいじめの問題だった。 資料の「川西の教育 施政方針」の平成25年度のところに生徒指導支援課を設置するとあるが、これはもうすでに設置されたということか。すでに設置がされているのなら、どういう仕事をするのか説明していただきたい。
議長	今の質問の部分も含めて、機構改革が多くなされているが、事務局に説明をお願いしたい。

審 議 経 過

NO.2

<p>事務局</p>	<p>生徒指導というのは生活指導ではなく、生徒をいかに人として社会に自立させていくのか包括的な指導を生徒指導というふうに学校教育の中では呼んでいます。</p> <p>まず、いじめとは、人間関係を紡いでいく力が弱かったり、あるいは自分のストレスや自分のつらさ、苦しさなどを人を下に置いてそこに攻撃を加えることで自分の心の安定を得たり、自分の苦しさを解決していくための力の弱さが背景にあるのではないかとということから、子どもたちの生きる力そのものをもう少し力強くしていくための施策を中心になってすすめていく課をつくりたいということで生徒指導支援課をつりました。</p> <p>トライやるウィークなどの社会に出て社会の中で自分の生き方を考えるというような、人としての自立をいかに支援していくのかということから関わっていきます。また問題行動に対する警察との連携もこの課でやっていきます。</p> <p>学校は、いじめに対応するということだけではなく、子どもたちの心をいかに豊かにしていくのか、また子どもたちが自分自身の問題と向き合いながら成長していけるようにということで生徒に関わってくれていますので、今度は行政として学校の行動や指導をどうサポートしていくのかということに特化したこの課で、さらに学校と連携を密にしていきたいと考えています。</p> <p>また、学校に出向いて各学校の抱えている様々な問題などの情報を共有しながら、何かあった時はすぐに支援できるような体制もつくっていききたいと考えております。</p> <p>最初の仕事として、現在、川西のいじめ防止のための行動マニュアル、いじめが起こった場合、把握した場合の具体的な行動指針をつくっています。完成後、学校に渡していく段取りとなっているところで、そのようなところも含めて子どもたちの実態把握と成長の支援ということもこの課が中心になってやっていきたいと考えています。</p>
<p>A委員</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>議長</p>	<p>青少年センターと教育情報センターがそのまま残っているが、生徒指導支援課との区分けは今までとどうちがうのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>本来、青少年センターというのは、内閣府を中心とした青少年の育成の一環の中の組織で、教育委員会が持っている場合は、社会教育。多くの場合、例えば県では、知事部局の方に青少年育成の部分が入っています。川西の場合は、学校との連携の必要性から、学校教育に近いところに設置されています。</p> <p>青少年センターは、学校外の補導活動などを中心に、地域の方と青少年の健全育成というところでいかに連携していくのかというのが中心の仕事になっています。</p> <p>生徒指導支援課は、どちらかという学校の中での取り組みをサポートしていきます。</p> <p>教育情報センターというのは、学校教育や就学前の子どもたちも含め、子どもたちの健康、子育てに対する支援や相談を実施すると同時に、教職員の研修を中心にやっていきます。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>他の委員さんではありませんか、G委員さんはどうですか。</p>
<p>G委員</p>	<p>川西版いじめ防止のための行動マニュアルを作成ということですが、大人もそういうようなことがないようにしていただけたらありがたい。また、地域の中での参画と協働のまちづくりですが、どの地区でも世代交代がはげしく、ボランティアだけで運営していくというのはなかなか難</p>

審 議 経 過

NO.3

議長	<p>いいので、行政の方に少し引っ張っていただくとありがたい。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>「委員さんはどうですか。」</p>
「委員	<p>今回、教育委員会並びにこども家庭部の方で組織改革をされたということは学校にとって大変心強い。うまく協力しながら、お互いに機能できればと感じた。学校現場としたら色々問題が出てきたときに、今回の組織改革で非常に相談しやすくなったというようなことを感じている。</p>
議長	<p>ありがとうございました。</p> <p>昨日の阪神北地区社会教育委員協議会の理事会での伊丹市の生涯学習部長の話が印象に残っている。この春まで市長部局のこども未来部長だったということで、枠を超えた形の中での連携について、それぞれの部門で連携を狙っている部分は同じだったということを語られていた。川西も組織改革をされたが、それぞれがうまく連携ができたらと思っている。我々も社会教育委員の立場で支援や連携をしていきたいと思っている。</p> <p>続いて議題に入る。まず、(1)各協議会等役員の選出について事務局より説明を願います。</p>
事務局	<p>「各協議会等役員の選出について」、資料のページ1にあるように、現在</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権教育協議会理事 真鍋委員 ・青少年問題協議会委員 岡田委員 ・青少年センター運営委員会委員 米田委員 ・生涯学習センター運営委員会委員 安藤委員 ・図書館協議会委員 末澤委員・田中委員 ・放課後子どもプラン運営委員会委員 廣末委員 <p>を社会教育委員から選任しています。協議会等委員については、社会教育委員の任期中選任したものと、それぞれの協議会等の役員の任期が到来したときは、同じ委員を選任したものと、任期満了した協議会の委員に引き続き、ご就任していただきたく考えていますのでお願いいたします。</p>
議長	<p>昨年度に引き続いて、今の名簿のまま継続ということによろしいか。</p> <p style="text-align: center;">(承認)</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>次に、(2)平成25年度年間研究テーマの設定について。</p> <p>細かなサブテーマまでは、今回は決まらないと思うが、今年も諮問がないので、我々でテーマを設定して運営をやっていくことになる。議長提案の形になるが、昨年に引き続いて2年目という形で同じテーマで設定させていただいてよろしいか。</p> <p style="text-align: center;">(承認)</p>
議長	<p>それでは、次回の会では、昨年度の論議を踏まえて、もう少し運営や論議の仕方を考えてテ</p>

審 議 経 過

NO.4

	<p>ーマを絞っていくというのもひとつの方法である。前回、事務局に提出した討議報告の中には具体的な提案があったり、問題意識を提起されている方もいらっしゃるので進め方も含めて次の会で論議し、的を絞っていきたいので、次回までに自分の考えをまとめてきていただきたい。</p> <p>それでは、引き続いて、(3)会議開催等の日程等について、事務局に提案をしていただきたい。</p>
事務局	<p>資料の3ページにあるように、社会教育委員の会については、昨年度、同様4月、5月、7月、9月、11月、2月の年6回を予定しています。教育委員との意見交換会は1月を予定、教育委員との意見交換会を除く、会議の日時についても、昨年度同様、第4水曜日午前10時からの開催を予定していますので、よろしく願います。</p>
議長	<p>昨年度から年6回に会議を減らした。次回テーマを絞っていったとき臨時に集まったの分科会式や全員でなく役割分担をして集中的に考えていく等々の形も考えられるが、昨年度同様、年6回という日程でよろしいか。</p> <p style="text-align: center;">(承認)</p>
議長	<p>ひとつ質問がしたい。</p> <p>平成15年度に川西市生涯学習計画について社会教育委員の会で答申している。ちょうど10年目になるので、総合的なことをしなくてはならない部分もあるかと思う。これは10年前に書かれているので、現在、新たな定義がされているので、事務局に教えていただきながら論じていけたらと思うが。</p>
事務局	<p>その件につきまして、生涯学習計画の期間は25年の3月で切れております。今現在、次期計画のない状態になっておりますが、今回、市の総合計画が新たになりますので、それが固まらないことにはその下につく計画は作りにくいということで、現在空白の状態になっております。期限は切れておりますが、以前のものをそのまま踏襲して、現在、進めている状態でございます。できれば、本年度事務局で一定の後継計画をつくりたいと考えております。前回は、全くないところからのスタートだったため、社会教育委員の会に諮問し、それからそれを元にしながらか作成しましたが、今回は、継承の計画の為、大きなラインは踏襲しながら計画を作成したい。今年度のどこかの会で一度お示ししてご意見を頂戴したいと考えているところですので、ご協力いただきたいと思います。</p>
議長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局の話にあるように、そういう場面もあろうかということも含めて今年は進めていきたい。それでは、これで第1回目は閉会する。</p>